

読んでみたい！ 読んでほしい！

堀川高校生のコメント集めました！



今年も、京都市立堀川高等学校生徒のみなさんから「読んでみたい本」「読んでほしい本」を募集し、選書・購入しました！その際に生徒の皆さんからもらったコメントをご紹介します。

まとまらない言葉を生きる

荒井 裕樹／著

柏書房

「今の言葉、よくなかったんじゃないかな」「そんな強い言葉で言い切っているの？」そんな風に思うことがある人に読んでほしい本です。自分が何となくもやもやするだけだったことが、この本を読むうちに前よりも見えるようになってきます。決してわかりやすく単純明快に説明してくれる本ではありません。でも、言葉を真摯に、下手にまとめたせいでとりこぼしてしまうものがないように書かれています。言葉を大切にしたい人にも、逆にそのくらいでカリカリしすぎだと思える人にも読んでほしい一冊です。情報化が進み、わかりやすい強い言葉が一気に伝わっていく今だからこそ読みたい本だと思います。

「大いなる悲鳴」によって人口の約三分の一が絶命した世界で、「何事にも感動しない」才能を持つ主人公・空々空（そらからくう）が「大いなる悲鳴」は地球からの攻撃だと主張する「地球撲滅軍」に加入して活躍していくストーリー。表層だけなら秘密組織に才能を見出された主人公が巨悪と戦うというよくあるストーリーだが、細かな設定や西尾維新氏独特の言い回しによって凡百の作品とは一味も二味も違う、シュールな面白さをもつ仕上がりになっている。また、物語中の地の文で様々な雑学や言葉の解説がわかりやすく、しかも違和感なく挿入され、読後にはいつのまにかたくさん知識が身についている。この作品の一番の魅力は圧倒的文章量から得られる満足感。読み切った後の爽快感は変えがたい。中学には5巻まで、高校には1巻までしかなかったし、図書館を検索しても近場には置いていないところがないので、図書館で購入をぜひお願いします。

「伝説」シリーズ

- ①悲鳴伝②悲痛伝③悲惨伝④悲報伝
- ⑤悲業伝⑥悲録伝⑦悲亡伝⑧悲衛伝
- ⑨悲球伝⑩悲終伝

西尾 維新／著

講談社

いつかすべてが君の力になる

梶 裕貴／著

河出書房新社

声優の梶裕貴さんが14歳の人に向けて、自身の人生で学んだことをもとに、人生を送る上で大切にすべきことを教えてくれます。アニメや声優に興味がある人は是非読んでほしいし、そうでない人も読んで損はないと思います。

これは経費で落ちません！

①～②

青木 祐子／著

集英社

天天コーポレーションという石鹸や化粧品を販売する会社の経理部で働く森若さんが主人公の物語です。経理部と聞くとあまりイメージが湧かないかもしれませんが、読めば読むほど面白さがわかってきます。テレビドラマもあって、それとセットで見る（読む）のもおすすめです。

映画版デューン1と2を観たことがあって、この壮大な物語を小説で読んでみたいと思った。とても長い物語なので図書館に置いてほしいと思った。デューンパート3もあるそうなので、一度は原作に触れてみたい。王の隆盛と衰退がとても鮮烈に映し出す映画でいつも読むものと違う感覚を味わえるのではないかと思います。

「デューン」シリーズ

①砂の惑星（上）（中）（下）

②砂漠の救世主（上）（下）

③砂丘の子供たち（上）（下）

フランク・ハーバート／著

酒井 昭伸／訳

早川書房

私は「重力ピエロ」という小説を読んだことはないが、伊坂幸太郎の「砂漠」を読んだことがあり、この作品の輝かしくはないが陽だまりのようなあたたかさのある青春と予想できないほどの伏線回収に心を奪われた。「重力ピエロ」はミステリーでありながら家族のあたたかさを感じるらしく、きっと「砂漠」のように読む手を止めることができないくらい心奪われる作品だろうと思ったので、是非読みたいと思った。

砂漠

伊坂 幸太郎／著

実業之日本社

重力ピエロ

伊坂 幸太郎／著

新潮社

神さまのおしゃべり

さとう みつろう／著

サンマーク出版

全てのことをポジティブにとらえ、前向きに考えることができる本。書店で見かけて気になっていたのを読んでみたいです。

物語は当時の人々の思想や生活と影響しあっていることが多いので、物語として読んでも研究の一環として読んでも面白そうと感じたことがきっかけです。

はじめてのギリシア神話

松村 一男／著

筑摩書房

カキワリの劇場

小林 賢太郎／絵と文

あかね書房

この本の作者は劇の脚本・演出等を行っており、解像度が高いです。不思議なコバケンワールドを体験してみては？

学校一の人気教師の自殺。黒板の犯行声明。交差する語り手…。事件の全体像が浮かび上がる時、秘められた真実が心をきゅっと締め付ける。

私が先生を殺した

桜井 美奈／著

小学館

ありあまるファンタジーを

Nakamu／著

KADOKAWA

今流行りの職業である「YouTuber」として活動する一人の人間のリアルな人生や生態が知れます。面白いよ！

植物の分類学は個人的に興味があるものの、学校に初心者用の本が少なくて挑戦しづらかったこと、またサボテンとその仲間の進化や遺伝的な関係にもとても興味があるので、ぜひお願いします。

サボテンはすごい！

過酷な環境を生き抜く驚きのしくみ

堀部 貴紀／著

ベレ出版

献灯使

多和田 葉子／著

講談社

短編集。読後、ため息を吐く。静かでありながら厚みのある文章がオススメ。

ユーモアあふれる人物のやりとりや書きぶり、ミステリーとしての読み応えが両立している。

スクイッド荘の殺人

東川 篤哉／著

光文社

ツナグ

ツナグ 想い人の心得

辻村 深月／著
新潮社

死者と会うというファンタジー的な感じだけど、一人の青年が他人の人生に深く関わり成長していく過程が見られるところが良い！

主人公とAIの探偵である「相似」が難事件に挑んでいく面白い作品です。

「探偵 AI」シリーズ

- ①探偵 AI のリアル・ディープラーニング
- ②犯人 IA の
インテリジェンス・アンプリファァ
- ③四元館の殺人
探偵 AI のリアル・ディープラーニング
- ④VR 浮遊館の謎
探偵 AI のリアル・ディープラーニング

早坂 吝／著 新潮社

パンドラの匣

太宰 治／著
新潮社

日記形式で書かれているため、文字以外からも主人公の心情が読み取れる。

人の汚い部分が前面に書かれた本。身近ではないけどリアルで生々しい。2025年映画化もあるので是非。

悪い夏

染井 為人／著
KADOKAWA

メンタリズムの罫

ダレン・ブラウン／著
メンタリスト DaiGo／訳 扶桑社

この本の著者のダレン・ブラウンが出ているYouTubeを観たのがきっかけで読んでみたいと思っています。本屋で探しても見つけれなかったのので、リクエストしようと思います。心理学・記憶術等の内容が書かれています。

読み返すごとに伏線を探して見つけることができ、何度読んでも楽しい。

「国名」シリーズ

- ①ロシア紅茶の謎②スウェーデン館の謎
- ③ブラジル蝶の謎④英国庭園の謎⑤ペルシヤ猫の謎⑥マレー鉄道 of 謎⑦スイス時計の謎⑧モロッコ水晶の謎⑨インド倶楽部の謎
- ⑩カナダ金貨の謎

有栖川 有栖／著 講談社

児童文学と一般文学の使い分けが明確、ミステリーと恋愛がほどよい割合で描かれている。人間関係が見ていて楽しい。

「KZ'D」シリーズ

- ①青い真珠は知っている②桜坂は罪をかかえる
- ③いつの日か伝説になる④断層の森で見る夢は

「KZ'U」シリーズ

- ①青失楽園のイヴ②密室を開ける手③数学者の夏④死にふさわしい罪⑤君が残した贈りもの

藤本 ひとみ／著 講談社

コミカルな世界観と、それに見合わないシンプルながら感動的なストーリーが魅力。

ビッグフェイスくん

くまパンダものがたり

DAIGO／さく・え ワニブックス